

# 神経内科

## 1. 概要

2018年のスタッフは、2017年9月以降は4人体制となっていたが、関連医局である名古屋大学神経内科から上田雅道先生(2018年1月～3月)、同年4月からは横井孝政先生が赴任され、5人体制となった。常勤医5人で診療に当たっているが、入院患者数は年々増加しており、2018年の入院患者数は985人(前年911人、前々年795人)であった。常に神経内科の定床数をオーバーしており、多くの病棟に入院患者が分散しているため、回診に時間を要した。

今年度の主なトピックは、以下のとおりである。

- ①高齢患者の軽症脳梗塞や一過性脳虚血発作も増加傾向が続く。
- ②高齢者のでんかん関連、意識障害関連の入院が目立つ。
- ③慢性炎症性脱髄性多発神経炎の患者、 $\gamma$ グロブリン維持療法反復入院が多い。
- ④筋萎縮性側索硬化症の患者で、ラジカット導入入院や合併症による入院がやや目立った。
- ⑤家族背景や社会的背景の難しい患者が多く、安定後の療養先について患者や家族への早期説明の実施や、患者総合支援センターによる介入が増えている。
- ⑥年度の終盤にかけて、新たに東病棟5階に神経内科5床増床得られ、患者が少しまとまりやすくなった。

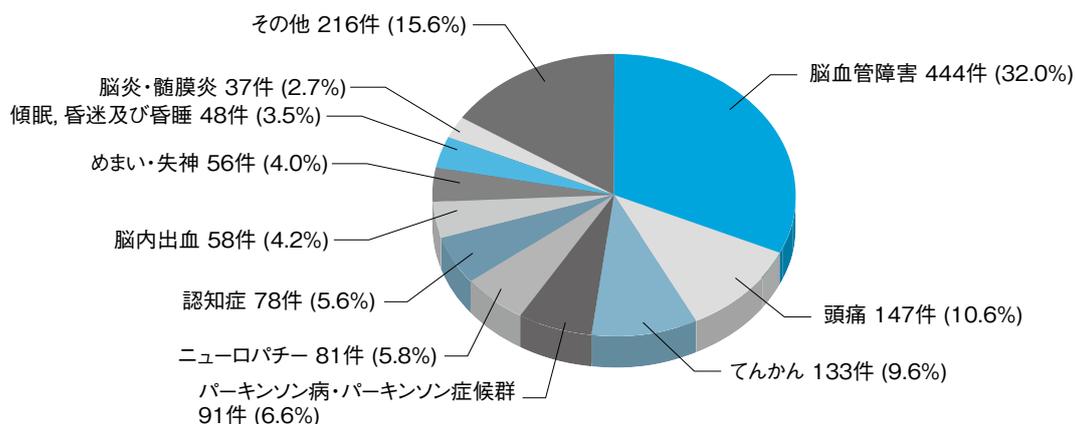
外来診療においては、前部長である空野謙次先生を始め、非常勤医3人の応援を得て診療を行っている。外来の年間受診者総数は、11,929人(2018年度医事統計)で前年の12,284人と比べて300人余減少した。また、初診患者数は1,483人と前年の1,522人に比べ、40人弱減少した。MCR体制に加え、紹介状持参での予約外患者も多く、可能な範囲で対応している。

日本神経学会より、標榜診療科名を「神経内科」から「脳神経内科」に変更することが決定され、当科も変更する方針となった。2018年度中に周知、2019年度以降は「脳神経内科」と標榜する計画とし、事務的な部分も含めて周知に努めた。当科は、1975年の「神経内科」標榜以来、科の特性についてPRに努めてきたが、対応する主な疾患が脳卒中・認知症・頭痛など多岐にわたっていることから、いまだに心療内科や精神神経科と混同されることがある。標榜診療科名を変更することで、患者に当科の診療内容をより広く正しく理解してもらいたい、という願いがある。

(部長 岩井 克成)

## 2. 新規登録疾患

総数：1,389件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
脳血管障害	脳動脈の血栓症による脳梗塞	214	I633
	脳動脈の塞栓症による脳梗塞	60	I634
頭痛	頭痛	80	R51
	緊張性頭痛	43	G442
てんかん	その他のてんかん	64	G408
	てんかん, 詳細不明	39	G409
パーキンソン病・パーキンソン症候群	パーキンソン病	85	G20
ニューロパチー	多発(性)ニューロパチー, 詳細不明	65	G629
	ギラン・バレー症候群	11	G610
認知症	詳細不明の認知症	35	F03
	アルツハイマー病, 詳細不明	33	G309
脳内出血	(大脳)半球の脳内出血, 皮質下	38	I610
	脳幹の脳内出血	10	I613
めまい・失神	めまい感及びよろめき感	48	R42
傾眠, 昏迷及び昏睡	昏睡, 詳細不明	48	R402
脳炎・髄膜炎	脳炎, 脊髄炎及び脳脊髄炎, 詳細不明	11	G049

### 3. 活動報告

#### (1) 患者状況

年間外来患者数	11,849人	年間外来新患者数	1,466人
年間入院患者数	18,457人	年間入院新患者数	987人

#### (2) 神経難病6疾患

	疾患名	件数(件)
1	パーキンソン病・パーキンソン症候群	87
2	多系統萎縮症	4
3	脊髄小脳変性症	11
4	筋萎縮性側索硬化症・球脊髄性筋萎縮症	15
5	重症筋無力症	12
6	多発性硬化症	11
	計	140

## 学会発表（医局）

### <神経内科>

No.	演題名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	関節リウマチへのTNF阻害薬治療中に発症したサルコイドーシスの1例	筆頭演者	大山 健	第234回日本内科学会東海地方会	名古屋市	2018/2/11	
2	心房中隔瘤による若年発症脳梗塞の一例	筆頭演者	辻村 和紀	第150回日本神経学会東海北陸地方会	名古屋市	2018/3/3	R
3	急性期脳梗塞患者における筋肉量と予後	筆頭演者	大山 健	第43回日本脳卒中学会学術集会	福岡市	2018/3/15	
4	病理学的に嗜銀顆粒性認知症と診断された4例の臨床症状・所見の検討	筆頭演者	岩井 克成	第59回日本神経学会学術大会	札幌市	2018/5/23	
5	筋萎縮性側索硬化症(ALS)における筋萎縮の定量的評価	筆頭演者	大山 健	第59回日本神経学会学術大会	札幌市	2018/5/25	
6	健常者における18F-THK5351 PETの所見	筆頭演者	横井 孝政	第59回日本神経学会学術大会	札幌市	2018/5/26	
7	慢性炎症性脱髄性多発神経炎(CIDP)における免疫グロブリン維持療法	筆頭演者	大山 健	第29回日本末梢神経学会学術集会	下関市	2018/9/7	
8	加齢に伴う健常者のTHK5351 PETの所見変化	筆頭演者	横井 孝政	第37回日本認知症学会学術集会	札幌市	2018/10/13	

## 座長・司会（医局）

### <神経内科>

No.	座長・司会	演題名	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日	演者区分
1	座長	神経2	岩井 克成	第234回日本内科学会 会東海地方会	名古屋市	2018/2/11	
2	座長	A-1	岩井 克成	第150回日本神経学会 会東海北陸地方会	名古屋市	2018/3/3	
3	司会	成人てんかんの診療 神経救急から認知症関連まで	岩井 克成	東三河てんかん診療 セミナー	豊橋市	2018/3/13	